

2022年3月期（第53期）決算補足説明資料

テナライド株式会社

2022年5月31日

I N D E X

■2022年3月期の業績動向について

- ・ 店舗状況
- ・ 経営成績に関する状況
- ・ 財政状態に関する状況
- ・ キャッシュ・フローに関する状況

■2023年3月期の見通しについて

店舗の状況①-店舗の状況

※関東のF Cのレストラン業態 1 店舗及び居酒屋業態 2 店舗を含みます。

【業態別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
旬鮮酒場天狗	16 店舗	— 店舗	△1 店舗	△5 店舗	△6 店舗	10 店舗
テング酒場	46 店舗	— 店舗	△2 店舗	△6 店舗	△8 店舗	38 店舗
神田屋	6 店舗	1 店舗	— 店舗	6 店舗	7 店舗	13 店舗
てんぐ大ホール	0 店舗	— 店舗	— 店舗	5 店舗	5 店舗	5 店舗
ミートキッチンlog50	2 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	2 店舗
和食れすとらん天狗	31 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	31 店舗
合計	101 店舗	1 店舗	△3 店舗	— 店舗	△2 店舗	99 店舗

※「和食れすとらん天狗」に「あげてけや」を含みます。
※「旬鮮酒場天狗」の業態変更は「テング酒場」へ1店、「神田屋」へ2店、「てんぐ大ホール」へ2店の計5店です。
※「テング酒場」の業態変更は「神田屋」へ4店、「てんぐ大ホール」へ3店の計7店です。

【地域別】	前期末	新規出店数	閉鎖店舗数	業態変更数	増減	当期末
合計	101 店舗	1 店舗	△3 店舗	12 店舗	△2 店舗	99 店舗
関東	87 店舗	1 店舗	△3 店舗	12 店舗	△2 店舗	85 店舗
関西	5 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	5 店舗
中部	9 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	— 店舗	9 店舗

店舗の状況②-新店及びリニューアル店について

1.新規出店状況

神田屋 新小岩店 :3店舗目のFCとして2021年6月にOPEN

2.リニューアル状況

新業態	旧業態	店舗名	詳細
テング酒場	旬鮮酒場	新宿南口店	B1Fをステーキ業態、B2Fをテング酒場にて営業
神田屋	旬鮮酒場	浜松町店	大衆スタンド
	旬鮮酒場	北千住店	大衆スタンド
	テング酒場	川崎店	大衆スタンド
	テング酒場	四谷店	二毛作業態(ランチ時間帯はとんかつ業態にて営業)
	テング酒場	渋谷センター店	鉄板料理を多く取り入れた大衆スタンド
	テング酒場	横浜鶴屋町店	大衆スタンド
てんぐ大ホール	旬鮮酒場	新宿西口大ガード店	てんぐ大ホールの2号店
	旬鮮酒場	銀座ナイン店	てんぐ大ホールの3号店
	テング酒場	船橋店	てんぐ大ホールの1号店
	テング酒場	大宮すずらん通り店	てんぐ大ホール、とんかつ業態の併合店舗
	テング酒場	獨協大学駅前東口店	郊外型のメニューを取り入れた「てんぐホール」としてOPEN

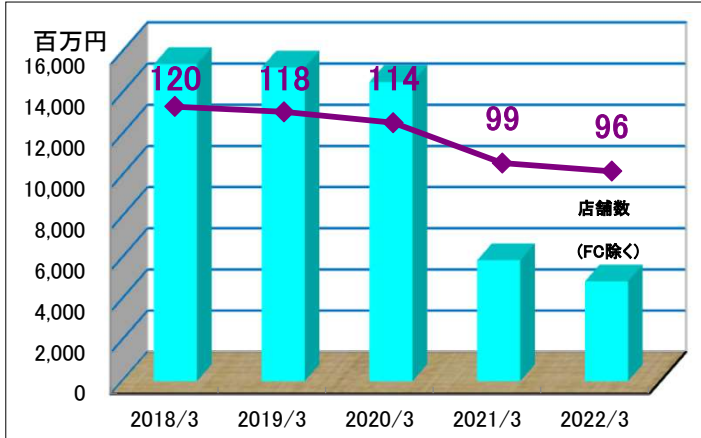
経営成績に関する状況①－概況（連結）

連結実績(百万円)	前期(2021/3期)	構成比%	当期(2022/3期)	構成比%	増減率%
売上高	5,951	100.0	4,823	100.0	△19.0
売上原価	1,970	33.1	1,627	33.7	△17.4
売上総利益	3,980	66.9	3,195	66.3	△19.7
販管費	8,630	145.0	6,328	131.2	△26.7
営業利益	△4,650	△78.1	△3,132	△65.0	32.6
営業外収益	113	1.9	2,887	59.9	2454.5
営業外費用	60	1.0	44	0.9	△25.9
経常利益	△4,597	△77.3	△290	△6.0	93.7
特別利益	8	0.1	11	0.2	34.4
特別損失	553	9.3	7	0.2	△98.7
税金等調整前当期純利益	△5,141	△86.4	△285	△5.9	94.4
当期純利益	△5,168	△86.8	△339	△7.0	93.4
1株当り当期純利益	△196円75銭		△12円34銭		
自己資本当期純利益率	△200.9%		△25.0%		
総資産経常利益率	△61.6%		△4.1%		

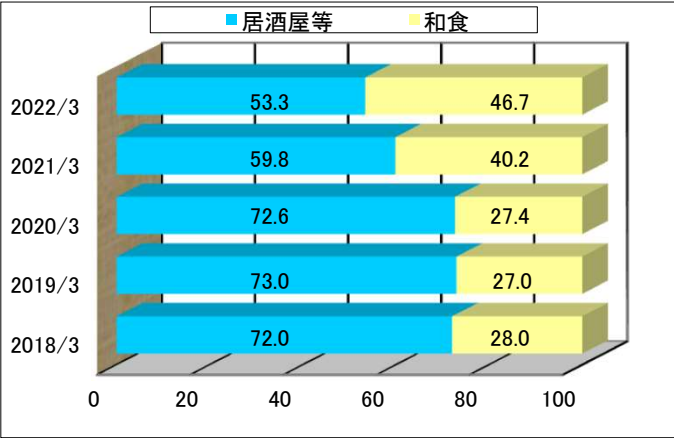
※当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、売上高、売上総利益及び販管費はそれぞれ1億75百万減少しましたが、経常利益及び税金等調整前当期純利益に影響はありません。

経営成績に関する状況①ー売上高（店舗売上ベース）

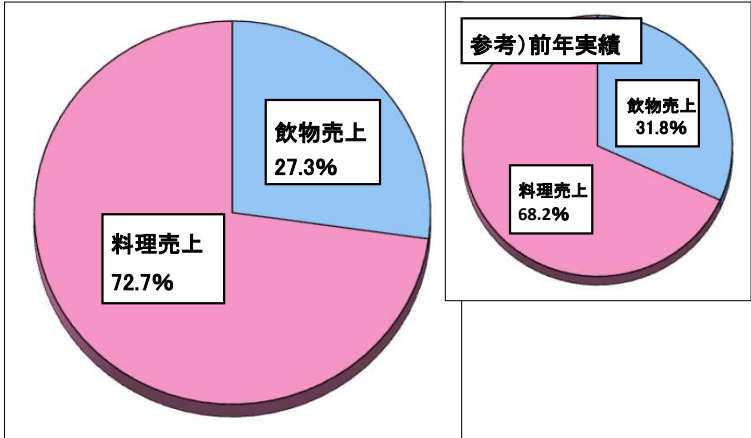
売上実績推移 ※1



業態別売上構成比 ※2

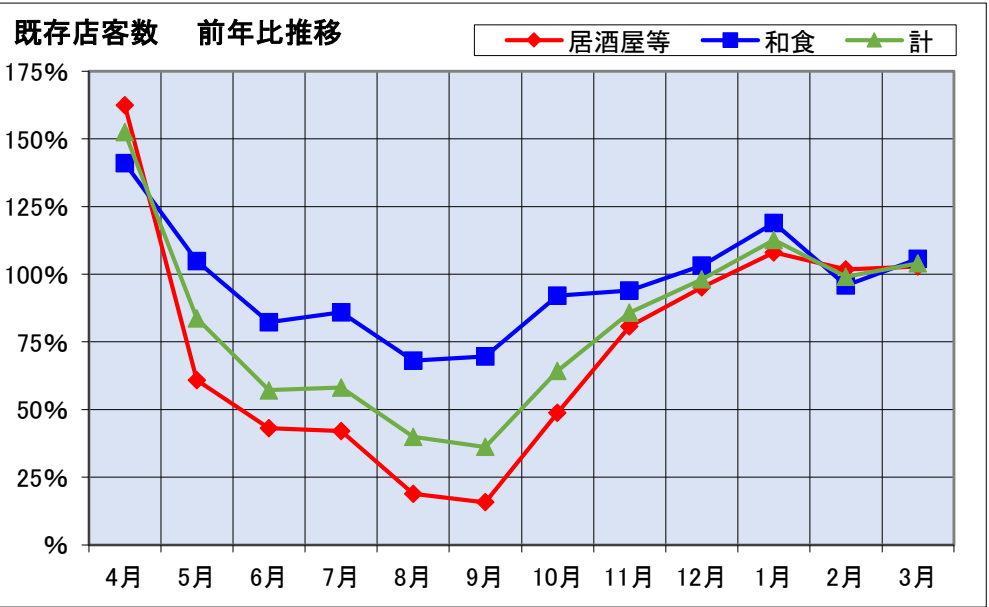
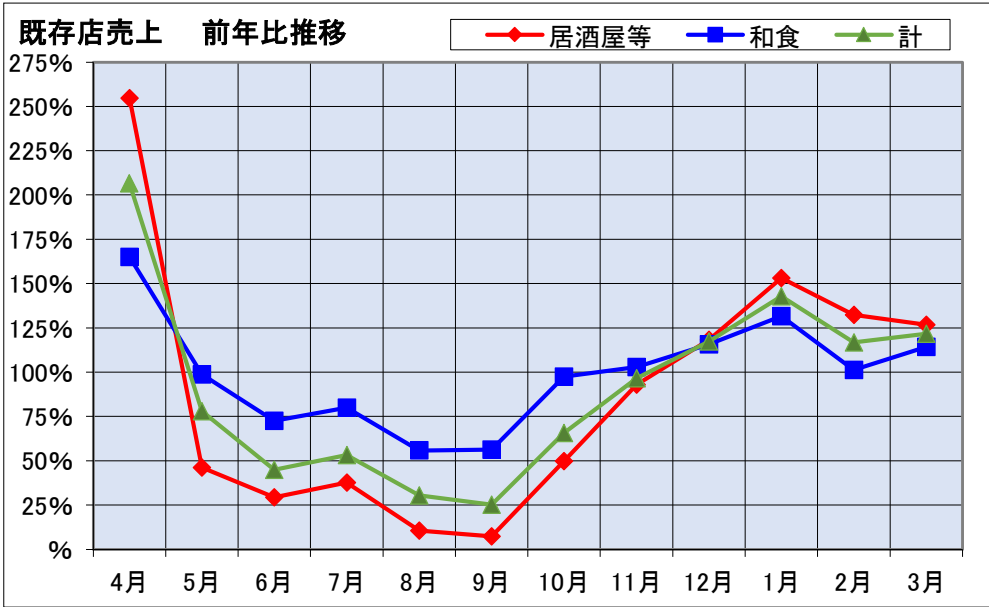


品種別売上構成比 ※3



- 売上高について（※1）
新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出・延長、感染拡大防止に向けた休業要請や外出自粛要請により客数、売上高は減少しております。
- 業態別売上構成比について（※2）
居酒屋等の店舗において長期間休業した店舗が多かったことにより、和食の売上構成比が増加しております。
- 品種別売上構成比について（※2・※3）
和食の売上構成比が増加したことにより、料理の売上構成比が増加しております。

経営成績に関する状況②－既存店売上の推移



既存条件： 同月のフル稼働店舗のみを対象（リニューアル期間は除く）。

客単価 (上記条件で抽出)

	前期平均	当期平均	増減率
旬鮮酒場天狗	1,306円	1,420円	108,7%
テング酒場	1,245円	1,301円	104,5%
神田屋	1,431円	1,710円	119,5%
てんぐ大ホール	1,329円	1,560円	117,4%
ミートキッチンlog50	2,452円	2,132円	87,0%
和食れすとらん天狗	1,303円	1,322円	101,5%

- 売上・客数について
当期・前期のそれぞれの月度における緊急事態宣言の有無により、売上・客数は大幅に増減しております。
- 客単価について
新商品導入やメニュー政策において販売価格の見直し等を行った結果、全業態で客単価が向上しております。

経営成績に関する状況④ー原価、経費等

売上原価	前期構成比率：33.1%	当期構成比率：33.7%	構成比率増減：+0.6pt
------	--------------	--------------	---------------

全業態における飲物比率減少の影響が大きく、原価率は上昇しております。

人件費	前期構成比率：74.8%	当期構成比率：67.4%	構成比率増減：△7.4pt
-----	--------------	--------------	---------------

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言等による休業・時間短縮営業や、他社への出向等の諸施策により人件費は減少しております。

他 販管費	前期構成比率：70.2%	当期構成比率：63.8%	構成比率増減：△6.4pt
-------	--------------	--------------	---------------

店舗数の減少により賃料、水光熱費、消耗品費等が減少したことや、賃料交渉による賃料の減免等により販管費は減少しております。

営業外収益・費用	(収益) 当期実績	28億87百万円	(前期比：27億74百万円増加)	※主に感染拡大防止協力金、雇用調整助成金
	(費用) 当期実績	44百万円	(前期比：16百万円減少)	※主に閉店店舗減少による雑損失の減少
特別利益・損失	(利益) 当期実績	11百万円	(前期比：3百万円増加)	
	(損失) 当期実績	7百万円	(前期比：5億46百万円減少)	※主に減損損失、店舗閉鎖損失引当金の減少

財政状態に関する状況 ※前期末との対比

連結実績(百万円)	前期末(2021/3期)	構成比%	当期末(2022/3期)	構成比%	増減額
流動資産	2,636	40.0	3,667	49.3	1,030
有形固定資産	1,808	27.5	1,635	22.0	△173
無形固定資産	43	0.7	51	0.7	8
投資その他	2,097	31.9	2,078	28.0	△20
固定資産	3,950	60.0	3,765	50.7	△184
資産 合計	6,586	100.0	7,432	100.0	846
流動負債	4,266	64.8	3,324	44.7	△942
固定負債	1,582	24.0	2,130	28.7	549
負債 合計	5,848	88.8	5,455	73.4	△393
純資産 合計	738	11.2	1,977	26.6	1,239
負債・純資産 合計	6,586	100.0	7,432	100.0	846
1株当たり純資産	△9円49銭		△23円70銭		
自己資本比率	11.2%		26.6%		

- 【資産の主な増減】
- 現預金の増加
 - 売掛金の増加(22年3月度の対前年売上増加)
 - 未収入金の減少(閉店店舗の保証金・敷金回収)
 - 有形固定資産の減少(減価償却)

- 【負債・純資産の主な増減】
- 長期借入金の増加
 - 未払金の減少(社会保険料等の猶予分返済)
 - 資本剰余金の増加
 - 利益剰余金の減少

キャッシュ・フローに関する状況

連結実績(百万円)	前期末(2021/3期)	当期末(2022/3期)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,552	△903	2,619
(主な増減)			
税金等調整前当期純利益	△5,141	△285	4,856
減価償却費	463	358	△105
減損損失	394	1	△394
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	52	△70	△123
その他の流動資産の増減額(△は減少)	250	△9	△260
その他の流動負債の増減額(△は減少)	513	△827	△1,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	420	490	70
(主な増減)			
有形固定資産の取得による支出	△578	△94	483
敷金・保証金の回収による収入	1,082	830	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,277	2,055	△1,222
(主な増減)			
短期借入金の借入による収入	2,000	0	△2,000
長期借入金の借入による収入	0	720	720
長期借入金の返済による支出	△100	0	100
現金(同等物)の増減額	175	1,643	1,468
現金(同等物)の期首残高	1,349	1,524	175
現金(同等物)の期末残高	1,524	3,167	1,643

2023年3月期（通期）の見通し

連結（百万円）	2022/3期 （実績）		2023/3期 （見込）		増減
売上高	4,823	100.0			
売上総利益	3,195	66.0			
営業利益	△3,132	△65.0	未定		
経常利益	△290	△6.0			
当期純利益	△339	△7.0			
1株当り当期純利益	△12. 34円				

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や生活様式の変容による消費ニーズの変化がもたらす影響の予測が不透明であり、現時点においては業績に与える不確定要素が多いことから業績予想を合理的に算定することが困難であります。そのため2023年3月期の業績予想を未定としております。